

令和7年度 第5回一般公開そば大学 in 平塚開催報告

令和7年5月24・25日に神奈川県平塚市で開催

令和7年5月24日(土)(一般公開講座)・25日(日)(講演、段位認定講習会)を神奈川県湘南エリアに位置し、海と山に囲まれた自然豊かな平塚市の平塚中央公民館で開催されました。

初日の24日には会員約350名が参加し、中谷信一理事長と古賀学そば大学学長からご挨拶の後、来賓の落合克弘平塚市長から祝辞を頂きました。



開会挨拶（中谷理事長）

基調講演では、大磯町郷土資料館学芸員長谷川明香さんに「湘南の歴史と文化」、登山家三戸呂拓也氏に「頂きを目指して」についてご講演をいただき、続いて、チベット文化研究会会長田中公明氏に「東方文化の潮流（そばと曼荼羅）」、信州大学名誉教授京都大学農学博士井上直人氏に「東方文化の潮流（山岳宗教におけるソバの位置～密教と修験道～）」のご講演をいただきました。

終盤では、地元湘南の木崎二郎率いるしろくま楽団（バンド）・キャロル山崎（歌手）の歌と演奏を聴き大いに盛り上がりました。

そして会場をホテルサンライフガーデンの宴会場に移し、市議会議員の片倉章博氏、登山家の三戸呂さんも交えて約180名のそば仲間が交流し懇親を深めました。

二日目の25日は、全麺協5支部の支部長による討論会が行われ、そば大学学長の古賀学氏がコーディネーターとなり、現状認識や楽しいそば打ち等について討論しました。



講演「頂きを目指して」（三戸呂拓也氏）



歌とジャズ演奏（キャロル山崎）

続いて公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問の丸山務氏に「手打ちそばと食品衛生について」の講演、伊勢原市出身の落語家金原亭小勝小馬生さんの「古典落語（大山詣り）」で華を添えました。昼休み後、基調講演として、首都圏支部の星崎輝夫氏に「高段位者となつての活動状況」を写真、画像を使って自身の活動をご紹介いただきました。

テーマ別講演では中谷信一理事長に「全麺協誕生の歴史と将来の考察」、その後、会場を隣の勤労会館に移して、五段位の受験希望者の第1次審査説明会と、四段位の受験者事前審査説明会を2会場に分かれて実施しました。



5支部長による討論会

再びメイン会場に戻り、篠原美文副理事長に「高段位者の心構え」のご講演をいただき、その後、閉会式を行いまして、無事、2日間にわたるそば大学を終了しました。

三日目の26日は38名の方が自由参加で箱根方面に観光バスで移動し、小田原城見学をしました。当初の予定では大涌谷見学でしたが、道路渋滞のため、行き先を変更し箱根の関所見学にしました。リニューアルした箱根の関所見学は大正解で十分楽しめました。

帰りは、箱根駅伝の中継所で有名な蒲鉾店でお土産を購入し午後4時前には小田原駅と平塚駅で下車して解散となりました。皆様、大変お疲れさまでした。

報告 総務局長